

5月開催のイベント「森マスターになろう」の様子(関連インタビューは裏表紙)



森
を
楽
し
む



第202号 令和8年7月31日発行

一 般 質 問 ……P2～6

政 務 活 動 費 報 告 ……P13

町 議 会 審 議 結 果 ……P7～10
5月臨時会 6月定例会

表 紙 イン タ ビ ュ ー ……P14

委 員 会 等 の 動 き ……P11～13

発行/上川町議会

編集/議会広報特別委員会

6月定例会は3人が質問しました

- P2～ 昔農議員 「地域公共交通（JR 石北線）の確保について」
 P4～ 泉議員 「屋外広告物の維持管理について」
 「層雲峡写真ミュージアム利用者増に向けて」
 P5～ 溝口議員 「第10期の介護保険事業計画について」
 「木材高付加価値化体験施設等の運営・利用状況について」

※質疑の要点のみ掲載しております。



町民の生活を大きく左右するJR問題。
 廃線を防ぐための協議が重ねられている

地域公共交通（JR石北線）の確保について

交通

JR石北線は維持できるのか

町長 国・道への要望を重ねながら、沿線自治体と協力し、JR北海道と協議していく

昔農議員

JR北海道は、

4月に8区間の路線に対し、上下分離方式※を含む存続策を提案し、沿線自治体との協議に向けた意向が示された。本年度末を協議の期限としていることから、沿線自治体や道も含めた連携を強化した対応・協議が必要と考える。

石北線は町民の通院・通学さらに観光面においても、なくてはならない重要な路線だ。

現在の沿線自治体としての取組状況、町としての考え方、今後の取り組みについて町長の考えを伺う。



昔農 正春 議員

町長

石北本線においては、本町を含む沿線自治体3市6町による「石北本線活性化推進協議会」を立ち上げ、「石北線アクションプラン」を策定し、路線の利用促進と経営改善に向けた取り組みを進めてきた。

具体的には、高校生の通学費補助拡大、2次交通への接続改善に向けたダイヤ改正、観光列車の誘致や地域イベント等に合わせた特別列車など、輸送密度を引き上げる取り組みを中心に行ってきた。また、上下分離方式の導入については、反対の意向を示

Q. 「一般質問」ってなに？
 A. 議員が町政の現状や方針を問うもので、議員の願う政策や展望も語ることで、貴重な場です。

してきた。

黄色8線区※は、地域の足としての生活路線維持だけでなく、観光振興や農産物の流通など北海道全体から見ても重要な役割を担っている。道が中心となり協議を進めるべきである。

また現在の状況は、国の国鉄分割民営化※に端を発しており、国が責任を持って対処すべき問題である。

今後、国や道への要請を、沿線自治体とともに進めたい。

昔農議員

上下分離方式

は、どの自治体でも厳しい財政状況のなかにあつては到底受け入れられない。

地方路線の問題は国が責任を持って支援を継続すべきであり、道にもっとリーダーシップを取ってもらいたいという思いは、私も同じだ。

今後は沿線自治体とさらに連携を強化し、国・道への要望等に取り組んでもらいたい。

そのうえで町民に対し現状の取組状況を理解してもら

い、JRの利用促進にむけて協力を願うべきと思うが。

町長

町民への情報提供をどういった形でできるか、検討していく。

町民や道民にこの問題を自分事として捉えてもらうよう努力する。

併せてJRと町が協力し、魅力的な路線を作っていくけるよう、アクションプランの中で協議していきたい。

昔農議員

ぜひ町民への周知に取り組んでいただきたい。

今後は地元負担等も含めた対応が求められることが想定されるが、今後の進捗状況については議会に報告いただき、議論しながら進めていきたい。

町長

しっかりと議会と連携を図り、町民とも情報共有をしながら進めていく。

Check!

これで分かる！
一般質問読み解きワード

※上下分離方式

：鉄道の運行（上部）と設備等の管理（下部）を別の主体が担う仕組み。

赤字が解消され路線は維持される一方、町が線路や土地の管理を行う必要があるため、財政的な負担が大きくなる。

※黄色8線区

：1日あたりの輸送密度が200人以上2000人未満の、石北線を含む8つの路線。

※国鉄分割民営化

：国鉄の赤字解消のため、JRへ民営化したこと。この過程で地方路線の廃止が進んだ。



過去の議会を動画で見ることができます

！YouTubeの【上川町議会チャンネル】へアクセス！

右の二次元バーコードを読み込むか、インターネットで

【上川町議会チャンネル】

と検索してみてください。



安全管理

危険広告物を撤去できないか 他1件

町長 広告物の管理者が存在しない状態
道と協議し対応する

屋外広告物の維持管理について



泉議員

幹線道路沿いに設置された屋外広告物の中には、現状のままでは道路通行や周辺住民に危険が及ぶ可能性があるものが存在する。何か対応できないか。

町長

屋外広告物には、北海道屋外広告物条例が適用され、その条文中に「危害の防止を図ることを目的とする」と規定されている。

指摘の広告物の管理者は存在せず、行政指導を行えない状況だ。今後は道と協議し対応を検討していく。

泉議員

協議をして一定の結論に至るまでには、課題も多く相当な時間を要することが予想される。

周辺住民の不安を少しでも早く解消するため、せめて破損している部分だけでも取り除くなど応急的に対応できないか。

町長

当該広告物が危険な状態であることは、現地確認をし、認識している。

抵当権を設定している金融機関に確認したが、施設の建物には抵当権が設定されているが、広告物は対象外ということ、撤去に関しては異論はないとのことだ。

今後、早急に部分的な撤去ができないか北海道と協議していく。



いずみ かつお 議員
泉 勝雄

泉議員

最終的には、広告物とはもとより廃屋となつていく建物も整理して欲しい。
安全・安心と沿線の景観を整え、町の価値を向上させるためにも協議を進めてほしい。

町長

施設全体のことについては、なかなか困難な状況であり、改めて議会と議論を深めていきたい。

層雲峡写真ミュージアム利用者増に向けて

泉議員

層雲峡写真ミュージアムの利用者は、コロナ禍等の影響もあり入館者が減少し、厳しい状況にある。

民間施設との連携や温泉宿泊者を対象にした入館料の割引、クレジット支払い等の検

討をすべきだ。
外観は閑散として、当該施設の案内標識等も分かりにくく入館しづらい。改善できないか。

町長

この施設は平成23年度に開館し、昨年度の入館者は1477人で、ピーク時の平成25年度1万473人の14%である。

原因としては展示作品のマンネリ化や温泉宿泊者の減少、温泉街の賑わいの喪失にある。

かつては宿泊者を対象に割引券を発行していたが、開館時間が宿泊者のニーズに合わないことで取りやめた。また、キャッシュレス対応もコスト面から見送ってきた。

現在、写真の劣化を防ぐため冬期間は休館している。しかし今年度予定の写真データのデジタル化事業を実施し、展示が可能となれば冬期間の開館も検討していきたい。

また現在試験的に、ランタンフェスの日にあわせた夜間開放を行っており、こちらも



層雲峡の写真ミュージアムの昨年度入館者数はピーク時の14%にまで下がっている

ニーズがあれば検討したい。
写真ミュージアムは層雲峡の屋内滞在施設として、オフシーズンや悪天候時の活用が求められているので、弾力的な運用を模索し、利用者増につなげたい。

泉議員

この施設と温泉街との連携等、層雲峡全体での一体感をどのように創り出していくか検討していくことが必要だ。

町長

市根井先生の作品は高く評価されているため後世にしっかり残していきたい。一方で施設をイベントに利用するなど新たな活用方法を模索し、層雲峡温泉街の活性化につなげていく。

介護保険

基金を活用し保険料を下げては他1件

町長 10期介護保険事業を運営していけるだけの基金額を残したい

第10期の介護保険事業計画について



溝口議員

介護保険事業は令和9年度から第10期目となり、今年度中には介護保険事業計画を策定することになる。この計画の介護保険料等について、町長の考えを伺う。

町長

介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支え合う重要な制度であり、本町においても、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、介護サービスの充実と安定的な制度運営に努めている。

9年度の介護報酬単価が発表され、想定される増額改定の額などが明らかになれば、

財政見通しに影響を及ぼす要素を見極めながら、介護保険料の基準月額について総合的に検討していく。

現在、介護給付費準備基金※は一定の残額を有しているが、将来にわたり安定した制度運営を行うための財源として、適切な水準を確保していく必要があると考えている。

溝口議員

7年度の介護事業特別会計の決算見込みで、5700万円ほどの収支残となる。6年度が7900万円なので2000万円程少ない。介護報酬が一部2%ぐらい改正になった。その影響だろうか。

町長

報酬の期中改定の影響もあるが、それ以外にも家での生活を送る方の居宅サ

ービスや福祉用具の利用、住宅の改修等で給付が増えている。

さらに老人ホーム入所者の入所延べ日数も増えている。町外施設入所者が増加しているほか、大雪荘では医療センターと連携を図り、体調を崩した場合でも医師が訪問診療を行い、施設で安心して暮らし続けられるよう取り組んでいる。

これらのことが、給付費の増につながっていると考える。

溝口議員

利用しやすくなつて給付費が増えているならば、好ましいことだ。

現在の当町の介護給付費準備基金は約1億4800万円、加入者1人当たり約9万円だ。少し多いのでは。



みぞぐち ひさお 議員

※介護給付費準備基金……介護保険における財政の安定を図るため、余剰金を積み立てて必要に応じて活用する財源

町長 基金については国や道から適切な水準が示されていない。今後の保険料や給付費の補填としてどのように活用していくかが重要になると考えている。

溝口議員 物価高騰対策として少しでも介護保険の基準月額を軽減できないか、検討していただきたい。

町長 基金をどれぐらい投入すれば、第10期の3年間に維持できるかといったところも含めて考えていく。

これまでは基準月額を6千円としてきたが、今後の情勢を含め判断していきたい。

木材高付加価値化体験施設等の運営・利用状況について

溝口議員 木材高付加価値化体験施設のこれまでの運営・利用状況や、サステナブルコンテンツ事業※等の成果・課題、今後の活用の方

性について、現時点での町長の評価を伺う。

町長 当施設は、令和5年に栄町に建設され、地域の森林資源が製品になるまでの過程を体験できる施設として、地域おこし協力隊による町産材利活用事業、旭川農業高校との連携事業など町内外の多くの方が利用してきた。

今後は製材機の貸し出しなど施設利用の有料化も見据え、施設の有効活用と自走している仕組みを検討していく。

サステナブルコンテンツ事業については、(一社)大雪山森林保全協議会が指定管理者となつて「大雪レクリエーションの森」におけるマウンテンバイクコースの管理等を行っている。イベントや町内企業との連携による利用者の増を図ることとしており、令和11年からの自走化を目指す。

溝口議員 建設から3年経つが、利用日報等はきちんと記入されているのか。

町長 これまでは職員中心の利用しかなかったため日報はなかったが、一般に貸し出しするとなれば、必要になつてくる。

溝口議員 一般利用を始めるとなると利用料等も考えていかなくてはならない。また事務所もないがどうするのか。

町長 まずはあの施設を行政財産として位置付けし、指定管理※や貸出料、使用料も含めた設置条例を制定することになる。

施設の維持管理費も含めて賄えるような運営にしていきたい。8月には板材の販売会を予定しており、そういったことを行いながら自走化を目指したい。

事務所は郷土資料館の2階を検討していたが、使い勝手がよくないため再検討する。

溝口議員 サステナブルコンテンツの昨年度の収入は。

町長 昨年度収入実績が

14万円強。収入的には非常に少なく厳しい。今年度の取り組みに期待をしていきたい。

溝口議員 是非、利用者や収入の増になるように検討していただきたい。



林業振興のためにつくられた木材高付加価値化体験施設

Check!

これで分かる!

※サステナブルコンテンツ

事業

：旭ヶ丘地区にあるマウンテンバイクコースや「森のホール」の維持・管理をする事業。

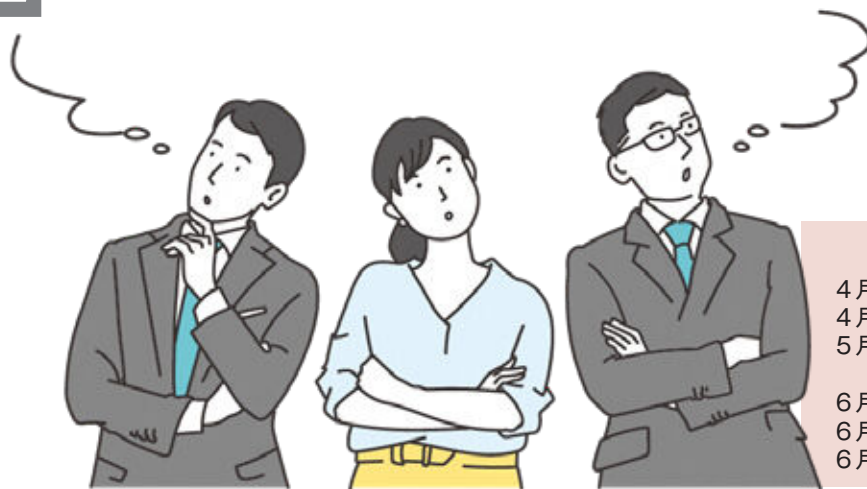
※指定管理

：町の施設の運営を民間事業者等に任せること。

5月臨時
6月定例

議会でなにがきまったの??

審議結果を紹介します



最近の会議等

4月28日総務文教常任委員会
4月30日産業福祉常任委員会
5月13日全員協議会
議会（臨時会）
6月 2日総務文教常任委員会
6月 4日産業福祉常任委員会
6月16日議会（定例会）

5月13日に臨時議会、6月16日に定例議会が行われ計39件の議案が審議され、すべて可決されました。（審議結果の一覧は10ページ）

今回は、議会や委員会、全員協議会で話し合いを深めてきた内容のなかから、特に町民のくらしに直結するものをご紹介します。



議案第42号 令和8年度一般会計補正予算（第2号）

まちづくり団体へ1億8千万円の交付金 「地域産業クラスター形成事業」

まちの課題解決に向けた新たな挑戦！

今年3月に設立したまちづくり団体「一般社団法人カミカワミライデザイン」に1億8千万円の交付金を支出します。

今回交付金を活用して取り組む「地域未来次世代型地域産業クラスター※形成事業」は、少子高齢化により縮小・消失していく地域の需要やインフラサービスを、新たなビジネス開発で克服していくことが目的です。

※地域産業クラスターとは、地域の企業や団体、人材などが連携して形成する産業の集まりのこと

Q. この交付金、どこからでるの？

A. 交付金の原資は国からの「地域未来交付金」です。事業の1/2補助で基本は3年間、最長で5年間もらうことができます。



カミカワミライデザインの拠点にもなる旧長栄堂

委員会・全員協議会での事前質疑を11～13ページに掲載しています





議案第33号 国民健康保険税条例の一部改正
議案第36号 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

国民健康保険税の改定 「子ども・子育て支援納付金」

子育てのお金を広く国民全体で負担

国の新たな政策「子ども・子育て支援金制度」により令和8年4月より国保税が改定されました。

一世帯あたり平均月額約350円が新たに負担となりますが、このお金は児童手当の拡充や子ども誰でも通園制度、妊婦支援給付金などの子育て支援に活用されます。



実は協会けんぽや共済組合等すべての公的医療保険が対象です！詳しくは各保険団体へ

所得割	0.29%
均等割 (18歳以上)	1,100円
平等割	1,000円



議案第42号 令和8年度一般会計補正予算(第2号)

インターネットを使った 出産子育て支援サービスが拡充

スマホを使って出産・子育て手続きを簡便化

これまで、インターネットによる予防接種の予約に使われてきた出産子育て応援ポータルサイトに、以下の機能が加わります！

- 妊婦支援給付金の申し込み
- 保健師面談の予約
- 出産祝品・祝金の申し込み
- 妊産婦健診・里帰り出産交通費助成の申し込み

そのほか、ポータルサイトを通して妊婦さんへ金芽米10kgを届けています。

パートナー企業からの熱い支援
「妊婦さんに心身ともに健やかに過ごしてもらえ支援を進めてほしい」



今回の費用は、東洋ライス(株)さんからの、企業版ふるさと納税を活用しています。

東雲・層雲峡の 辺地計画を策定しました

議案第34号 辺地総合整備計画の策定

層雲峡・東雲を対象に「上川町辺地総合整備計画」を策定しました。

辺地計画は、交通の不便さや生活環境を整え、住みよい地域にするための街づくり計画です。計画が認められれば、道路や施設整備に必要なお金を国から8割だしてもらい財源不足を補うことができます。

今回は層雲峡の道路・上下水道の整備のほか、東雲のヌクモの改修を行うため計画を策定しました。



病児・病後児保育 フォーラムを開催しました

議案第42号 一般会計補正予算（2号）

病児・病後児保育フォーラムを7月25日にかみんぐホールで開催しました。

病児・病後児保育は、病気の子どもや回復期の子どもを、保護者に代わって医療機関や保育所等で一時的に預かり、保育と看護ケアを行う制度です。

今回のフォーラムでは、病児・病後児保育を実際に行っている寿都町の保育士の話聞き、上川町の子育て家庭のニーズ等を共有しながら、病児・病後児保育に関する理解を深めていきます。



1 議会 ニュース

意見書を提出しました！

6月定例会で下記3件の意見書を採択しました。

- ◆ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
- ◆令和8年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ◆地方財政の充実・強化に関する意見書

2 議会 ニュース

すさみ町からの視察を受け入れました！

6月25日に「カミカワミライデザイン及び外部人材との共創まちづくり」をテーマに、和歌山県すさみ町議会の視察を受け入れました。

すさみ町は上川町とおなじ人口3000人規模の町で、上川町と未来共創パートナーシップ協定を結んでいます。

視察では、活性化起業人など外部人材の活用について未来想造課から説明を受けたほか、町内の施設を見て回りました。



地域おこし協力隊卒業生が起業したカフェ等を見て回りました



一目でわかる 議会の結果

5月臨時会
6月定例会

(重要度) ☆☆☆☆☆ 町民の暮らしに直結する案件かどうか、広報委員会でも独自に判断しました

重要度	件名	結果
条例改正 すでにある条例を変えること。保険料が変わるなど町民のくらしに直結する場合と、国の法律が変わる際にそれに合わせて町の条例を変えるなど形式的な場合がある		
☆☆☆	税条例の一部を改正	全会一致 で可決
☆☆☆	都市計画税条例の一部を改正	
☆☆☆	国民健康保険税条例の一部を改正	
☆☆☆	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正	
☆☆☆	社会福祉センター（ふれあいセンター）設置条例を廃止	
補正予算 お金足りないぶんを補う補正（増額）と、予定より使わなかったためお金を戻す整理（減額）がある		
☆☆☆	一般会計補正予算 第10・1・2号 ※10号は7年度補正予算	全会一致 で可決
☆☆☆	国民健康保険事業特別会計補正予算 第1号	
☆☆☆	介護保険事業特別会計補正予算 第1号	
☆☆☆	簡易水道事業会計補正予算 第1号	
☆☆☆	下水道事業会計補正予算 第1・2号	
その他 人事・契約・財産など		
☆☆☆	財産（小型動力ポンプ付積載車）の取得	全会一致 で可決
☆☆☆	辺地総合整備計画の策定	
☆☆☆	財産（上川町立学校学習者用コンピュータ等（chromeOS））の取得について	
☆☆☆	中央保育所解体工事請負契約の締結	
☆☆☆	固定資産評価審査委員会委員の選任（2名）	
☆☆☆	農業委員会委員の任命（10名）	
議員からの発議 議員から提出する議案。おもに議会関係の条例改正や、議員の派遣など		
☆☆☆	議員派遣（7月議員研修会・行政視察、8月議会広報研修会）	全会一致 で可決

議員といっしょに話してみませんか？

議会は、町民と議会の対話の場「まちづくりトーク」の参加者を募集しています。まずはお気軽にご相談ください。（上川町議会事務局01658-2-4064）

《おもな開催要件》

- 5名以上の参加者が見込めること
- 開催場所を申込者にご用意いただくこと
- 時間は1時間30分程



委員会の動き



6月2日 総務文教常任委員会 現地視察

議

会には4つの委員会と1つの協議会があり、まちの施策について話し合っています。

特に、議会で議決をとるような案件では、議会と行政とのあいだで質疑が交わされ、政策についてじっくり意見をすり合わせるだいたい場となっています。

総務文教常任委員会

▽4月28日

・主要テーマと年間スケジュールについて

▽6月2日

(議題)

・8年度の主要事業について
・現地視察(日東水力発電所・旧長栄堂・役場庁舎・上川消防署庁舎・総合体育館)

質疑

人事評価制度(職員成長支援制度)の導入

湯川委員

役場で人事評価制度を始めるとのことだが内容は？

総務課長

本人に年間目標を立ててもらい、その進捗と面談の内容を元に評価する。上司が部下を評価するだけでなく、自己評価も取り入れ、双方向で評価を行う。

質疑

基金の運用(財政改善)

瀬上委員

基金をどのように運用し、収入を得ようと考えているのか？

担当係長

短期の国債または道債を想定している。運用にあたり、年度をまたがないような取り扱いを検討している。

質疑

層雲峡の地熱開発

溝口委員

これまでも町は地熱開発に取り組んできたが、国立公園区域のため実現しなかった。今回の実現可能性は？

未来想造課長

東日本大震災をきっかけに規制が緩和され、層雲峡温泉街付近で開発できるようになった。今回の対象地も、層雲峡温泉街の真下になる。

湯川委員

温泉街を直接掘るのか？

未来想造課長

今年度は温泉街から離れた層雲峡終末処理場付近に細い井戸を掘って、熱資源を調査する。

熱源が確認された後も、温泉街から離れたところから斜めに掘っていく技術が今はある。

源泉への影響が出ないことを一番に留意し進めていく。

質疑

カミカワミライデザイン

溝口委員

国の交付金で活動するとのことだが、交付期間が終了した後の運営はどうするのか？

未来想造課長

交付金がなくなっても自走していける団体を目指す。越境人材などを通じて企業との連携が生まれ寄附につながった場合は、寄附額の一部を手数料として法人に支払うことも検討していきたい。

(関連記事7ページ)

▽6月8日

所管事務に関する意見書審査



旧長栄堂の中が片付けられ、改修が始められている

産業福祉常任委員会

▽4月30日

・主要テーマと年間スケジュールについて

▽6月4日

(議題)

・8年度の主要事業について
・現地視察(元中央保育所・上川消防署庁舎・ふれあいセンター・農地改善対策事業・清川の岩作業道・流星・銀河の滝休憩舎)



流星・銀河の滝休憩舎(トイレ)が改修予定だ

質疑

緊急銃猟(ヒグマ対策)

笠間委員

今年「緊急銃猟※」

の体制づくりをすること。現在のハンター数は?

担当係長

登録ハンター数は17名だが、町内で実際にヒグマの捕獲対応を行っているのは、十分な経験を積んだ一部のハンターに限られている。注…実際に緊急銃猟を実施するハンターは、今後協議会で決定すること。

質疑

大雪祭(森で行う芸術祭)

大村委員

森林空間を活用しつつアート文化を育てるイベントと聞いているが、その成果指標は?

担当係長

イベントを通して、森に入るきっかけを作りたいと考えている。成果指標は森に入った人数や機会を創出した事業数になるだろう。

質疑

観光戦略の策定

大村委員

観光戦略を練るための事前調査などはあったのか?

担当係長

観光団体等の関係者



旭ヶ丘にある「森のホール」でアートイベントが開催された

へのヒアリング、一般の方へのアンケート調査を行っている。

宮本委員

今回の観光戦略は、層雲峡の宿泊を軸としているが、最近町にcoming観光客には、旭川に宿泊し、日帰りでラフティングやバックカントリーなどを楽しむ人が多い。

実情に即して、観光と宿泊は分けた戦略を立てては?

町長

町の観光として末永くやっていくには、市街地や旭ヶ丘の観光と、層雲峡での宿泊をつなげる必要があると考えている。

▽6月8日

所管事務に関する意見書審査

全員協議会

▽4月23日

(議題)

・議会ペーパーレス化に伴う会議システムの調査・研究

▽5月13日

(議題)

・上川町辺地総合整備計画の策定
・地域未来交付金(地域未来推進型)新規事業計画

質疑

地域未来交付金事業(カミカワミライデザイン)

宮本委員

(関連記事7ページ)
カミカワミライデザインを一言で表すと?

担当係長

町民と行政とが一緒にまちづくりを進めるために、町民と行政の中間に立ち、地域活性化のための事業を立案・実行する組織だ。

宮本委員

プロジェクトチームに加わる「(株)ローカルのみらい」の活動実績は?

担当係長

元・地域活性化起業人が代表で、起業人として3年間

町のDX化をサポートした後、起業した。

今はプロジェクトの伴走支援や、町内の雑誌の編集サポートなどを行っている。

大村委員 事業のひとつの「感動人口プラットフォーム」で、インターネット上にコミュニティを形成することだが、5年前の大人本気ラボとの違いは？

担当係長 大人本気ラボの時は職員が1名しかおらず、思うように推進できなかった。

今度は外部人材を3名増やし、より活発なコミュニティを形成する。そして、ふるさと住民登録制度の登録者数の増などを目指す。

議会運営委員会

▽5月13日・6月11日
上川町議会の運営について

議会広報特別委員会

▽6月26日・7月13日
議会広報第202号の編集及び校正について

令和7年度の政務活動費を報告します

政務活動費とは…地方自治法の規定に基づき「議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員に対し交付することができるもの」で、上川町では年間12万円を交付しています（申請方式、使わなかった分は返還）。

例えば、自主的な議会関係セミナーの受講（研修費）、議員活動のための情報収集に必要な書籍・雑誌の購入（資料購入費）などが経費として認められています。

令和7年度の各議員の政務活動費の使途状況は、次のとおりです。

（単位：円）

議員名 項目	濱田 純子	笠間 法考	宮本 敬嘉	昔農 正春	湯川 秀一	洲上 主美
交 付 額	120,000	0	120,000	120,000	120,000	120,000
支出内訳	調査研究費					
	研 修 費	47,994				
	会 議 費					
	資料作成費					
	資料購入費	19,820	11,569	11,569	11,570	31,370
	広 報 費					
	事 務 費	4,392		3,025	792	
計	72,206	0	11,569	14,594	12,362	31,370
返 還 額	47,794	0	108,431	105,406	107,638	88,630

議員名 項目	小林 健男	大村 優介	泉 勝雄	溝口 久男	石山 浩幸	合 計
交 付 額	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	1,200,000
支出内訳	調査研究費					
	研 修 費					47,994
	会 議 費					
	資料作成費					
	資料購入費	11,570	17,600	11,570	11,570	159,378
	広 報 費					
	事 務 費		791	791		9,791
計	11,570	17,600	12,361	21,961	11,570	217,163
返 還 額	108,430	102,400	107,639	98,039	108,430	982,837



小学生向けの公民館講座「森マスターになろう」の講師、佐藤さんにお話を聞きました。

—どんな講座なんですか？

火起こしや木を伐る体験を通じて、子ども達が森の中で必要なスキルを得てレベルアップしていけるよう、全5回の連続講座にしています。第1回目は層雲峡オートキャンプ場で、「森ビンゴ」と火起こしを行いました。

—子ども達の反応は？

「森ビンゴ」では五感を使って木の感触を確かめたり自然にある色を探したりしながら森を散策し、それぞれの発見を子どもたちが楽しんでいるのが印象的でした。

火起こしでは、初めてナイフやメタルマッチを使う子が、イベント後半では1人で使えるようになったり、火の扱い方がどんどん上手くなったりと、成長を感じました。

表紙 インタビュー 「森を楽しむ手助けをしたい」



地域おこし協力隊
アカデミックプロデューサー

さとう さき
佐藤 幸希さん

—森を通してどんなことを学んで欲しいですか？

学びより、まずは純粋に楽しんでほしいです。上川は自然豊かで素敵な町ですが、知識がないと森に入りにくく、森が怖いという子もいます。まずは遊びに行く感覚で、森を気軽に楽しんでもらいたいです。

—佐藤さんは今後どんな活動をしていきたいですか？

森に入るだけでなく、森の葉っぱ等の自然物を使ったアートなど、室内でもできる表現活動をやりたいです。子どもたちが「なんか楽しい！」と思えるきっかけを、森を通して作っていったらと思っています。

この質疑をきっかけに…

中古品※も補助
対象になりました

(産業振興補助金
事業承継・新規開業支援補助金)
※耐用年数等の条件があります



今後もよりよい
まちづくりに努めます

あの質問
どうなった？



質疑のその後

～令和7年6月定例会の一般質問のようす～



小林議員「新規開業支援等の補助金では中古品が対象外だと聞くが、要件を緩和しては？」

町長「中古は耐用年数の問題等あるが、物価高で新品購入が厳しいのも理解する。今後検討する」

